



# 句集 孤島 ことう

井出野浩貴 著

## 俳人協会新人賞 受賞作家による 注目の第二句集！

宇宙的空想から共に生きる者たちへの共感まで  
幅広い世界へ読み手をいざなう。

鋭敏な五感で生活者の実感を

こまやかに詠じた作品は寡黙だが

季語が多くを語っている。——西村和子 (帯文より)



四六判 上製 196頁 定価：2860円(税込10%)

角川「俳句」5月号(4/25売)に広告掲載！

虫の夜の孤島めきたる机かな

〈作品抄〉

つばめ来る東京いまだ普請中  
花の影とどめて水のとどまらず  
くるぶしにかひなに茅花流しかな  
祭鱧逢ふときいつも雨もよひ  
草笛の鳴るも鳴らぬも捨てらるる  
太陽系第三惑星星祭  
また来てと母に言はれて秋の暮  
小春日の龍太の留守を訪ひにけり  
あのころは実学蔑し冬木立  
湯豆腐や父逝き母逝き戦後逝き

著者紹介◆井出野浩貴 (いでの ひろたか)  
1965年、埼玉県生まれ。2007年、「知音」入会。2013年、  
青炎賞(知音新人賞)受賞。2014年、句集『驢馬つれて』  
上梓。2015年、第38回俳人協会新人賞、川口市芸術奨励  
賞受賞。2021年、知音賞受賞。  
現在、「知音」同人、俳人協会幹事。  
翻訳書『ミシシッピ=アメリカを生んだ大河』(講談社)ほか。

ご注文はJRCへ FAX: 03-3294-2177

●JRC より全ての取次への出荷が可能です。●返品は長期にお受けします。(了解者：JRC 宮尾)

ご注文 申込書	貴店名・帳合	注文数	発行 朔出版 電話・FAX 03-5926-4386
			句集 孤島 井出野浩貴 著 四六判 / 上製 / 196頁 / 定価：2860円(本体2600円+税10%)
		冊	ISBN978-4-908978-87-6 C0092